

活動名称 (40字以内)	森の人になろう ― 森と暮らす仕事		
団体名等	大学院農学生命科学研究科附属演習林		
活動区分	<input type="checkbox"/> ボランティアなどの社会貢献活動	選考方法	<input type="checkbox"/> 先着順
	<input type="checkbox"/> 国際交流体験活動		<input checked="" type="checkbox"/> 書類審査
	<input type="checkbox"/> 就労体験活動	募集人数	<input type="checkbox"/> 面接
	<input type="checkbox"/> 農林水産業・地域体験活動		5 人
	<input checked="" type="checkbox"/> フィールドワーク体験活動		
<input type="checkbox"/> 研究室体験活動			
活動方法	<input checked="" type="checkbox"/> オンラインを活用しつつ現地活動を行う <input type="checkbox"/> オンラインのみで活動を行う		
大学院学生	<input checked="" type="checkbox"/> 含む <input type="checkbox"/> 含まない		
参加資格等	学部学生及び大学院学生		
活動期間	2023/8/24(木) ~ 2023/8/25(金)	主な活動予定場所	附属演習林富士癒しの森研究所 (山梨県南都留郡山中湖村)
	2023/12/16(土) ~ 2023/12/17(日)		
	4 日間		
目的	富士癒しの森研究所の森林管理作業として行っている枯れ木や落ち枝処理、薪の原木づくり、薪割り、落ち葉焚き、草原管理の刈り払い等の作業に参加体験し、新旧の技術を使った森林管理作業を通して伝統的な森林と人間との関わりの文化に触れる。		
具体的な内容 (800字程度)	<p>富士癒しの森研究所では従来より親しみやすい森林景観に留意した森林管理を行っている。平成23年度からは「癒しの森プロジェクト」として「小規模森林資源利用を組み込んだ地域循環型の森林管理手法」の構築を目標として教育研究フィールドの充実に取り組んでいる。</p> <p>こうした森林管理作業の一環として、富士癒しの森研究所で行っている林内環境整備の業務を夏と冬に分けて教職員と協働して行う。参加者には事前にオンラインによるガイダンスを行い(日程は別途調整)、研究所の取組む活動を疑似体験できる本、動画、ライブ映像等の情報ソースを紹介する。</p> <p>森の仕事は刃物などの道具類を安全に上手に使いこなすことから始まる。現地活動では、基本的な安全講習および道具を使いこなす技術習得も体験してもらう。夏の部は8月24日から25日の1泊2日で、夏季特有の草地管理の芝刈り作業、林内を安全に快適に保つために行う林内の枯れ木や危険木除去などの森林作業を行う。森林管理にともない発生する丸太や枝などは冬場の焚き付けや薪に使い有効活用するが、その準備は夏のうちからやっておかなくてはならない仕事である。冬の部は12月16日から17日の1泊2日で、富士癒しの森研究所のアカマツ林で例年行っている「落ち葉かき」と「落ち葉焚き」による特徴的なアカマツ林の景観管理作業を行う。8月に作った薪原木を使用して薪割りをし、薪で昼食を作るなど通常の生活ではなかなか体験する機会がなく失われつつある森との暮らしに関わる技術や文化に触れる。夏と冬の屋外における森林作業を体験することで、季節ごとに変化する自然の中の暮らしから生まれた日本人の文化にまで思いを馳せることができるだろう。</p>		
備考	<p>学年、性別等の条件は特にない。夏の部(8月24日から25日)および冬の部(12月16日から17日)の2回実施するが、体験内容は異なる。いずれかの1回に参加することも2回すべてに参加することも可能であるが、希望者が多かった場合は2回とも参加することのできる学生を優先する。</p> <p>作業時は夏でも安全管理上長袖長ズボンで行う。冬の山中湖村は大変寒く朝方は-15℃以下になることもあるので、参加者には十分な防寒対策をするよう周知する必要がある。富士癒しの森研究所への往復は高速バスを利用すると便利かつ安価であるが、朝1番の便はかなり早く満席になるので予約は早めに行うよう推奨する。宿泊は富士癒しの森研究所管内にある山中寮内藤セミナーハウスを利用する予定であり手配は主催者側で行う。</p> <p>・集合 (夏の部): 山中寮内藤セミナーハウス玄関に8月24日午後1時までに集合 (冬の部): 山中寮内藤セミナーハウス玄関に12月16日午後1時までに集合</p>		
参加するための費用 [※]	内 訳(1名当たり)		其他 [※] 特記事項は以下に記載 左の費用は夏の部(1泊2日)冬の部(1泊2日)両方に参加した場合の学部生のおおよその費用。片方だけに参加する場合は半額となる。宿泊費は大学院学生(運動会員)は各部ともに500円増し、大学院学生(非運動会員)は1000円増しとなる。
	交通費	9,000 円	
	宿泊費	5,000 円	
	食費	8,200 円	
	計	22,200 円	奨励金額 活動後に算出
ウェブサイト等			